

2024 東京会場

対面は先着

150名
(各日)

ハイブリッド
開催！
参加費無料

先生のための 「夏休み経済教室」



先生のための「夏休み経済教室」は、今夏で17年目になります。

今年は、中学校では教科書の改訂、高等学校では新学習指導要領の完成年です。この間に経済だけでなく世界も日本も、また学校も大きな変貌をとげました。大きく変わろうとする現実と教科書のギャップを埋めて、「生徒が腑に落ちる授業」をどうつくりあげてゆくか、この夏も経済の視点から、エコノミストや教育の専門家とともに考えてゆくプログラムを用意しました。

公民の授業、経済の授業が本格的にはじまる夏のこの季節、経済の授業のアップデートを目指そうとしている先生方、ひろく経済教育に関心のある皆様のご参加をお待ちしています。

日時 2024年 8月19日 (月) 中学対象
20日 (火) 高校対象

時間 9:30~16:30
(※19日(月)は16時終了予定)

場所 慶應義塾大学三田キャンパス
北館ホール+ウェビナー配信

●セミナー主催
経済教育ネットワーク、株式会社東京証券取引所・株式会社大阪取引所(日本取引所グループ)、慶應義塾大学商学部



●後援
文部科学省、東京都教育委員会、神奈川県教育委員会、埼玉県教育委員会、千葉県教育委員会、全国公民科・社会科教育研究会、全国中学校社会科教育研究会、東京都公民科・社会科教育研究会、東京都高等学校「倫理」「公共」研究会、東京都中学校社会科教育研究会、金融広報中央委員会 以上申請中。

プログラム

※やむを得ず、講師および内容等が変更となる場合があります。
また、どちらか1日でも、両日でも参加できます。

(敬称略)

8月19日 (月) 進行: 小谷勇人
(春日部市立武里中学校教諭)

8月20日 (火) 進行: 杉浦光紀
(東京都立新宿山吹高等学校主任教諭)

9:30~9:40	挨拶
9:40~10:50	「JPXの最新の動きと金融経済教育の取組み」 鈴木 深 (金融リテラシーサポート部課長)
11:00~12:10	「経済の視点で地理の授業を創る」 中西 覚 (埼玉県鳩山町立鳩山中学校教諭) 三橋 浩志 (文部科学省初等中等教育局教科書調査官)
12:10~13:20	昼食
13:20~14:30	「経済の視点で歴史の授業を創る」 今村 吾朗 (練馬区立石神井西中学校主任教諭) 関谷 文宏 (筑波大学附属中学校教諭)
14:40~15:50	「見方・考え方を育てる公民的分野の指導(財政)」 藤田 琢治 (目黒区立第九中学校主任教諭) 三枝 利多 (東京学芸大学附属竹早中学校非常勤講師)
15:50~16:00	まとめ

9:30~9:40	挨拶
9:40~10:50	「金融経済の学習での教科間・外部コラボをどう進めるか」 埴 枝里子 (東京都立農業高等学校主幹教諭) 植村 徹 (筑波大学附属駒場中学校・高等学校教諭) 藤井 剛 (明治大学文学部特任教授)
11:00~12:10	講演「教えるための経済学入門 - 「公共」、「政経」で学ぶ労働 -」 安藤 至大 (日本大学経済学部教授)
12:10~13:20	昼食
13:20~14:30	講演「人口オーナス時代の日本社会のゆくえを読み解く」 諸富 徹 (京都大学大学院経済学研究科・経済学部教授)
14:40~16:20	パネルディスカッション 「三年目の「公共」とこれから」 金子 幹夫 (神奈川県立三浦初声高等学校総括教諭) 吉田 真大 (渋谷教育学園幕張中学校・高等学校教諭) 栗原 久 (東洋大学文学部教授)
16:20~16:30	まとめ

講師紹介

安藤 至大

日本大学
経済学部 教授



法政大学経済学部卒業。東京大学博士（経済学）。政策研究大学院大学などを
経て、2018年より現職。

主な著作:『ミクロ経済学の第一歩 [新版]』(有斐閣)、『経済学部教授とキャリア
コンサルが教える就活最強の教科書』(共著・日本経済新聞出版)

諸富 徹

京都大学大学院
経済学研究科・
経済学部教授



京都大学大学院経済学研究科博士課程修了。
横浜国立大学経済学部助教授、京都大学大
学院経済学研究科助教授などを経て、2010年3
月より現職。2015年よりミシガン大学グロ
ティウス客員研究員(安倍フェロー)、放送
大学客員教授を務める。主な著作は『私たち
はなぜ税金をおさめるのか-租税の経済思想
史』(新潮選書)、『資本主義の新しい形』
(岩波書店)など。

藤井 剛

明治大学
文学部 特任教授



千葉県公立高校勤務を経て、2015年より現
職。元NIEアドバイザー。現在、主権者教育
アドバイザー(総務省)として全国で講演等
を行っている。

主な著書は、『主権者教育のすすめ』(清水
書院)、『公共の授業と評価のデザイン』
(監修・著 清水書院)、『「なぜ!？」から
はじめる政治・経済』(山川出版社)など。

栗原 久

東洋大学
文学部 教授



筑波大学大学院修士課程教育研究科修
了。埼玉県公立高等学校教諭、筑波大学
附属高等学校教諭、信州大学准教授を
経て、現職。主な著書は『授業をもっと面
白くする!中学校公民の雑談ネタ40』

(2020年、明治図書)『中学校社会科定
番教材の活用術 公民』(編著・東京法令
出版)『入門 社会・地歴・公民科教育』
(編著・梓出版社)など。

三橋 浩志

文部科学省
初等中等教育局
教科書調査官



筑波大学自然学類地球科学専攻卒業。日
本総研、文部科学省科学技術政策研究
所を経て2010年より現職。博士(地域政策
学、高崎経済大学)

主な著作は『日本のクラスター政策と地
域イノベーション』(共著・東京大学出
版会)、『歩いて暮らせるコンパクトな
まちづくり』(共著・古今書院)など。

関谷 文宏

筑波大学附属
中学校 教諭



東京大学文学部国史学科卒業。東京都立中
学校教諭、東京都教育委員会指導主事
を経て、2005年より現職。2022年度金融教育
研究校(東京都金融広報委員会)指導教諭。
主な著作は『ヤマ場をおさえる学習評価
中学校 深い学びを促す指導と評価の一体化入
門』(共著・図書文化社)。経済産業省
「STEAMライブラリー」プリタニカ・ジャ
パンのコンテンツ制作協力。

三枝 利多

東京学芸大学
附属竹早中学校
非常勤講師



元東京都立中学校主任教諭。法務省法教育
研究会教材作成部会委員、内閣府経済教育に
関する研究会委員、文部科学省学習指導要領
等の改善に係る検討に必要な専門的作業等
協力者などを歴任。

主な著作は『中学社会指導展開事例集』(共
著・東京法令)、『新社会科授業づくりハンド
ブック』(共著・明治図書)、ワークシートで
見る全単元・全時間の全て 社会 中学校公民
(編著・東洋館出版)など。

進行役紹介

小谷 勇人

春日部市立
武里中学校 教諭



埼玉大学教育学部社会科専修卒業。文部
科学省派遣教員として中国の青島日本人
学校を経て、現職。金融広報中央委員会
主催第11回金融教育に関する小論文・
実践報告コンクール特賞受賞。

主な著書は『私たち中学生で会社をつ
くろう』(金融広報中央委員会)など。

杉浦 光紀

東京都立
新宿山吹高等学校
主任教諭



東京学芸大学卒業。東京学芸大学大学院教育学
研究科修了後、都立高校2校を経て、現職。
令和5年度、厚生労働省の社会保障教育の推進
に関する検討会、構成委員。東京都高等学校
「倫理」「公共」研究会、幹事。
主な著書は『公共の扉をひらく授業実例集』
『「公共の扉」を生かした13主題の授業事例
集』(共著・清水書院)など。

申込
必須!

▼Webサイト「東証マネ部!」より
お申し込み下さい。



<https://money-bu-jpx.com/news/article051676/>

※事前申し込み必須。

対面参加については人数制限あり。先着150名

※お申込みの受付開始は、6月下旬を予定しております。
対面参加が満員の場合は、オンライン参加にて
お申し込み下さい。

オンラインは
人数制限なし!
どしどし
ご応募ください

